

---

# 家族になろうよ。

勇希

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

家族になろうよ。

### 【Nコード】

N7620A

### 【作者名】

勇希

### 【あらすじ】

祐二がバイトを終えて帰る途中彼は一人の少女と出会う。その出会いが彼の人生を大きく変えていく。

## 少年は一人の少女と出会う

祐二

「お疲れ様です」

今日も長いバイトが終わった。

俺が働いてるのは有名な飲食店（チェーン店）だ。

俺はキッチンをしている、理由は他人とそんなに関わりたくないから、言われた料理を調理するだけ、まあそのおかげで自宅でも自炊をしているから経済的には結構楽なのだ。

仕事が終わる

通い慣れた帰り道を歩いているとふと一人の少女が道端で座っているのを見つけた。うーん、、、邪魔だ！ 何なんだこいつ？道に座りやがって！まあ、いいか。俺は彼女の横を通り歩こうとした時、突然

？

「あのーすいません。私怪しい者ではないんですよ」

そう言って彼女は俺の前に立つ、怪しい者ではないって言った奴に限って怪しいんだよ！

？

「えとですねー怒らないで聞いて下さい。１０００円貸してくれませんか？」

祐二

「はあ？」

こ、こいつ何言ってたんだ？馬鹿か？この女。俺は怒りを何とか沈めてその女に質問をした。祐二

「何故俺が君にお金を貸さないといけないんだ？名前も何も知らないんだぞ？おかしいだろ！」



優衣

「はい、すいません。ありがとうございます。」

・次の日

優衣

「あの〜起きてください。起きてください!」

祐二

「うう、ゝ、もう朝か?」

優衣

「はい!それですねゝあのお礼としてご飯を作ってみたんですが。

」

祐二

「うむ、」

俺はテーブルに置いてある物を見て思わず驚いた。      これぞ日本の朝ご飯って感じの物が並べられていた。

祐二

「これ全部お前が作ったのか?」

優衣

「はい!張り切って作りましたよゝ食べて下さい。」

祐二

「いただきます。」

「パクパクパク」

祐二

「何じゃこりゃゝ」

優衣

「そんなに美味しいですか?」

祐二

「早く出ていってくれ」

優衣

「えっちょっ何で、ゝ、」

祐二

「お前、砂糖と塩間違えてるだろ？俺を殺す気か？」

優衣

「あはっ」

祐二

「それよりも、とりあえず飯食って俺バイトだから、分かるよな？」

優衣

「あっお弁当作るの忘れちゃいました」

祐二

「、、、じゃなくて出で行くんだよ。金も貸してやっただろ？」

優衣

「あっ、、、、、、」

祐二

「どうした？」

優衣

「お金、、、さっきの朝ご飯作るのに使っちゃいました、、」

祐二

「どあほが。」

優衣

「泣」

俺は仕方なくバイトが終わるまで  
優衣と言つ女を家に置いておく事にし、バイトが終わって帰ってき  
てからどうするか？を話し合う事を決めた。

祐二

「めんどくせえな。」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7620a/>

---

家族になろうよ。

2011年1月12日23時41分発行